

株主の皆様へ

第**56**期

# 株主通信 (中間報告)

2019年1月1日～2019年6月30日

 **タチカワブラインドグループ**  
**富士変速機株式会社**

証券コード：6295

# 環境調和型企业をめざして お客様の理想をカタチに

富士変速機の製品は、暮らしのどこかでつながっています。



## 株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は2019年6月30日をもって第56期（2019年1月1日から2019年12月31日まで）上半期（第2四半期）が終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年9月



代表取締役社長

河嶋 謙一

## 企業理念

我社は顧客の視点に立ち、動力伝導技術をコアコンピタンス事業とし、常に新技術を深究し、顧客の繁栄と社会の発展に貢献することを目的とする。

### 当第2四半期累計期間の経営成績

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が持ち直し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしましたが、米中貿易摩擦の長期化に伴う中国経済の減速など、海外経済の不確実性により、依然として先行不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては、マーケティングに基づく当社の強みや技術を活かした製品開発と生産体制の最適化を行い、いかなる事業環境の変化にも対応すべく原価低減活動と生産性の向上に努めてまいりました。

減速機関連事業では、省力化・省人化を背景とした物流・工場自動化設備等成長分野に対し、当社の保有技術を活かした特殊製品等による新規顧客展開に注力してまいりました。

駐車場装置関連事業では、需要増加が見込まれる分野への新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する付加価値の高い改造改修提案を推

進し、製造・施工コストの管理体制強化を進めることにより、受注獲得と収益改善に努めてまいりました。

室内外装品関連事業では、生産・品質管理体制の強化を図り、収益改善に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,658百万円（前年同期比20.8%増）、営業利益は228百万円（前年同期比96.8%増）、経常利益は243百万円（前年同期比80.1%増）、四半期純利益は162百万円（前年同期比78.8%増）となりました。

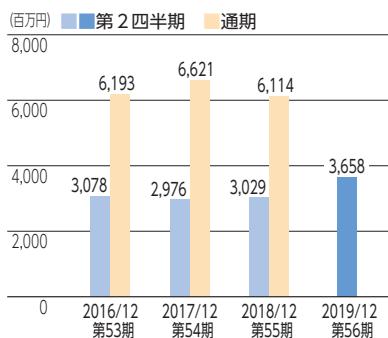
## 当第2四半期累計期間の概要

売上高  
**3,658**百万円   
 (前年同期比 20.8%増)

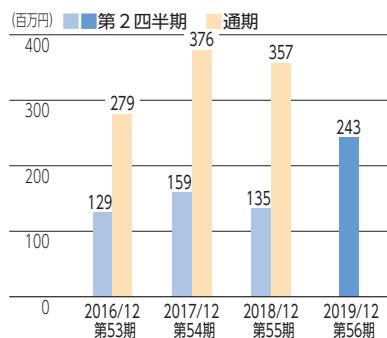
経常利益  
**243**百万円   
 (前年同期比 80.1%増)

四半期純利益  
**162**百万円   
 (前年同期比 78.8%増)

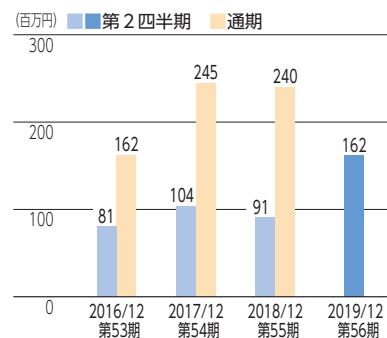
### 売上高



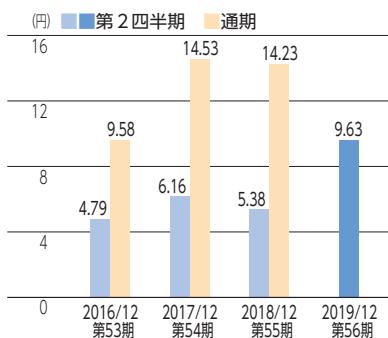
### 経常利益



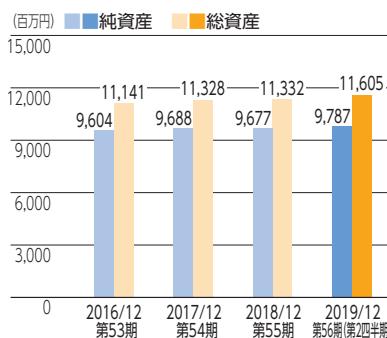
### 四半期 (当期) 純利益



### 1株当たり四半期 (当期) 純利益



### 純資産・総資産

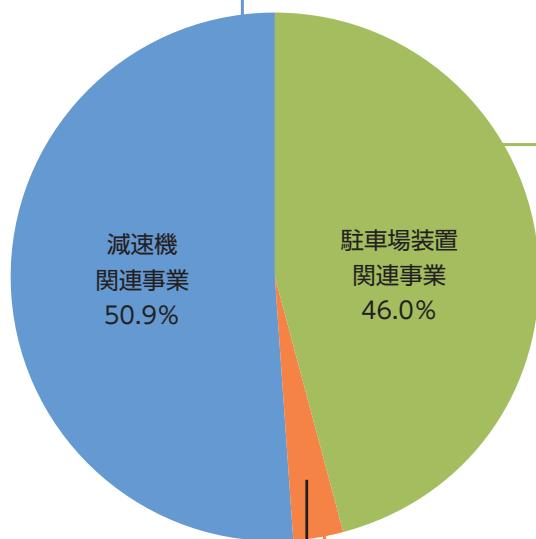


### 自己資本比率



# セグメント別の概況

事業別売上高構成比



## 減速機関連事業

売上高  
**1,861**百万円  
(前年同期比 6.3%増)

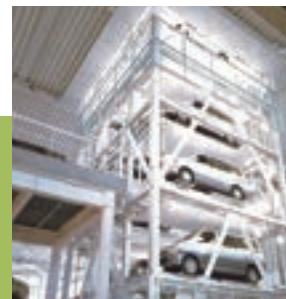
《主要製品》  
汎用減速機  
(VX・VCシリーズ)  
特殊減速機  
シャッタ用駆動装置  
消防用非常装置  
(ジェットセイバー)



## 駐車場装置関連事業

売上高  
**1,684**百万円  
(前年同期比 53.8%増)

《主要製品》  
機械式駐車場  
(パズルタワー)  
(スーパーパズルGS、LB)  
(ペアパーク、アペルト)



## 室内外装品関連事業

売上高  
**112**百万円  
(前年同期比 38.4%減)

《主要製品》  
可動間仕切  
(スライディングドア)  
パネルルーバー



## 特殊減速機やシャッタ開閉機用減速機などの受注が増加しました

物流・生産施設における自動化への投資需要を背景とした無人搬送台車駆動用減速機をはじめ、当社の得意とする特殊減速機やシャッタ開閉機用減速機などの受注が増加したことにより、売上高は1,861百万円

(前年同期比6.3%増)となりました。営業利益につきましては、売上高の増加に加え、継続的な生産性向上等により128百万円(前年同期比40.0%増)となりました。

### 売上高



## 大規模地下駐車場の新築工事が完工しました

新規物件において、工期の変更等により予定していた一部の工事進捗が下期へ繰り延べとなったものの、大規模地下駐車場の新築工事が完工したことで、売上高は1,684百万円(前年同期比53.8%増)となり

ました。営業利益につきましては、継続した原価低減活動と売上高が増加したことにより114百万円(前年同期比330.0%増)となりました。

### 売上高

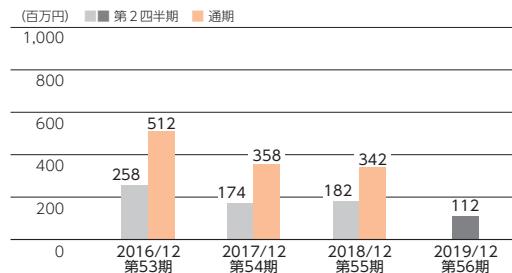


## 品質管理の徹底と生産性向上に努めました

品質管理の徹底と生産性向上に努めましたが、市場の競争激化など厳しい受注環境が続き、売上高は112百万円(前年同期比38.4%減)と

なりました。営業損益につきましても、売上高の減少により14百万円の損失(前年同期は2百万円の損失)となりました。

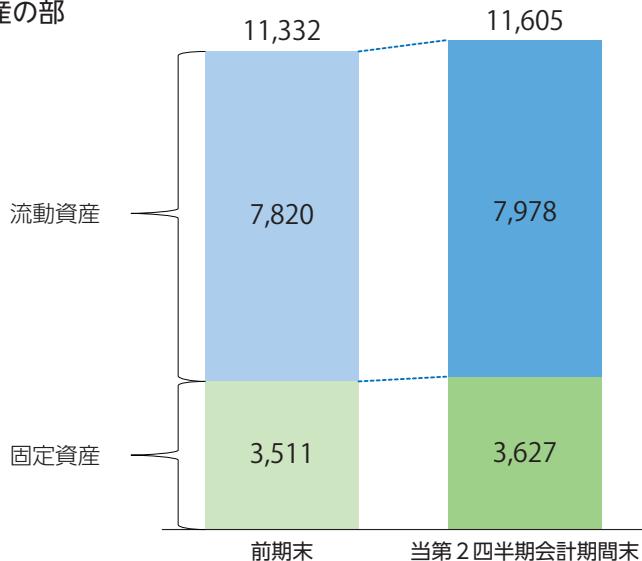
### 売上高



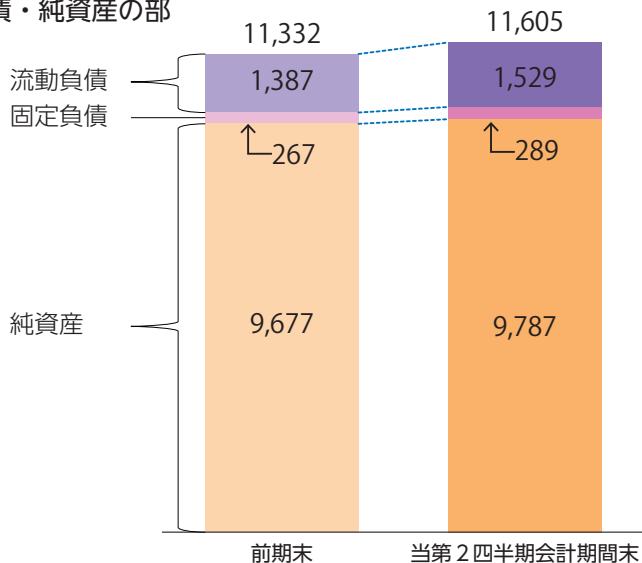
## 第2四半期貸借対照表

(単位：百万円)

### 資産の部



### 負債・純資産の部



### 1 資産

流動資産は、前期末に比べ157百万円増加し7,978百万円となりました。

これは、前払費用などが減少した一方で、受取手形及び売掛金が増加したことなどが主な原因です。

固定資産は、前期末に比べ116百万円増加し3,627百万円となりました。

これは、有形固定資産が取得などにより増加したことなどが主な原因です。

### 2 負債

流動負債は、前期末に比べ142百万円増加し1,529百万円となりました。

これは、支払手形及び買掛金が減少した一方で、未成工事受入金などが増加したことなどが主な原因です。

固定負債は、前期末に比べ21百万円増加し289百万円となりました。

これは、退職給付引当金が増加したことなどが主な原因です。

### 3 純資産

純資産は、前期末に比べ109百万円増加し9,787百万円となりました。

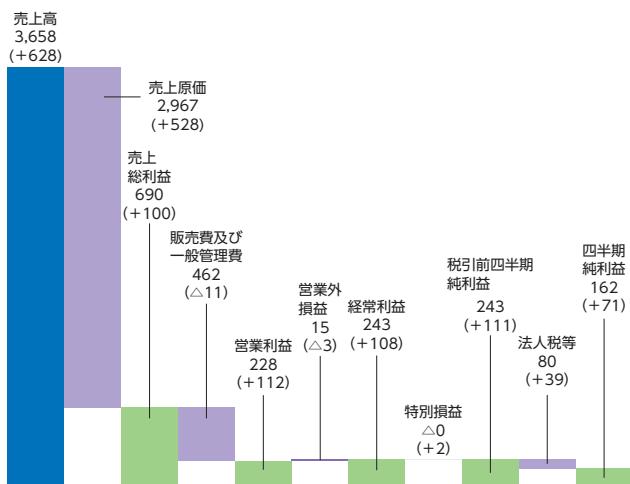
これは利益剰余金が増加したことなどが主な原因です。

この結果、自己資本比率は前期末に比べ1.1ポイント減少し84.3%となりました。

※ 「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」等を当期から適用しており、前期末の貸借対照表の一部を組替えております。

## 第2四半期損益計算書

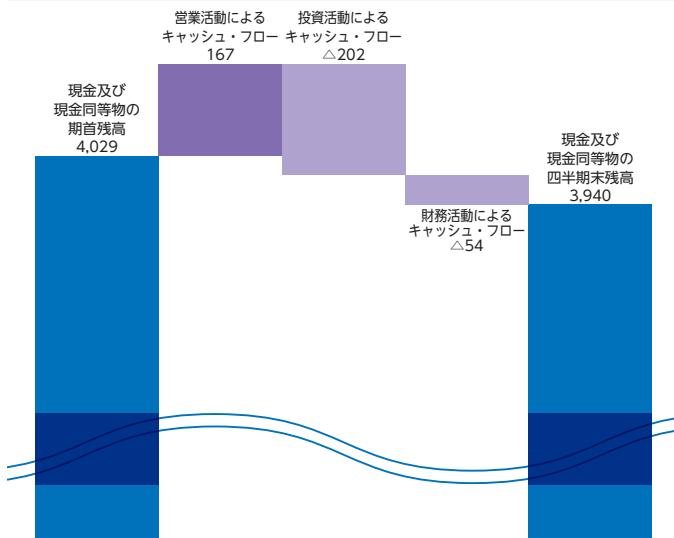
(単位：百万円)



※ 括弧内は対前年同期比

## 第2四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

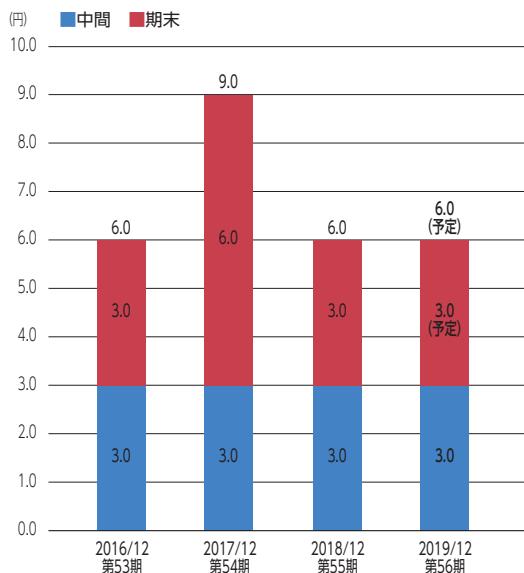


※ 百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 配当について

当社は、株主の皆様に対する適切な利益還元を経営の重要な政策と位置づけ、安定した配当を継続することを基本方針としております。この基本方針に基づき、当期の中間配当金につきましては、1株当たり3円を実施させていただきます。また、期末配当金についても、中間配当金と同様に1株当たり3円を予定しており、これにより年間配当金は、1株当たり合計6円となる見込みであります。

### 1株当たりの配当金の推移



※ 第54期 期末配当には、創業70周年記念配当3.0円が含まれております。

## 会社概要

社名	富士変速機株式会社
英文社名	FUJI HENSOKUKI CO.,LTD.
創業	1947年4月
設立	1965年1月
資本金	25億750万円
岐阜県知事許可	建築工事業 (特-27) 第10684号 機械器具設置工事業 (特-27) 第10684号 電気工事業 (般-29) 第10684号
上場取引所	名古屋証券取引所 市場第二部
証券コード	6295
従業員数	216名 (男性193名 女性23名)

## 主要な事業所

本社	岐阜県岐阜市中洲町18 電話 (058) 271-6521 (代表)
美濃工場	岐阜県美濃市極楽寺963-1 電話 (0575) 33-1151 (代表)
テクノパーク工場	岐阜県美濃市楓台7 電話 (0575) 35-3972 (代表)
東京支店	東京都新宿区西新宿4-15-3 電話 (03) 3370-6359 (代表)

取締役 (監査等委員である取締役を除く。)

代表取締役社長	河嶋謙一
取締役	蓮井隆之
取締役	井本明
取締役	市原英孝
取締役	山田昭広
取締役	佐野通彦
取締役	中川有泰

監査等委員である取締役

取締役	今村季嗣
取締役	木村静之
取締役	中丸公之

(注) 取締役の木村静之、中丸公之の両氏は、社外取締役であります。

当社ホームページを  
ご覧ください

<http://www.fujihensokuki.co.jp/>



株主・投資家向けのIR情報から取扱い製品まで、会社の幅広い情報を提供しております。ぜひ一度、ご覧ください。

# 株式の状況 (2019年6月30日現在)

## 株式の状況

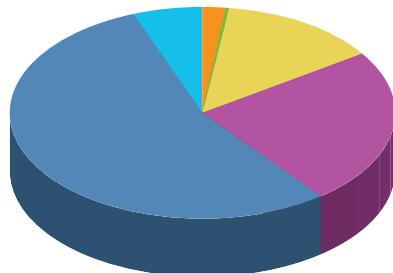
発行可能株式総数	44,000,000株
発行済株式の総数	17,955,000株
単元株式数	100株
株主数	1,593名

## 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
立川ブラインド工業株式会社	9,393	55.53
富士変速機取引先持株会	1,880	11.11
株式会社愛知銀行	526	3.11
株式会社十六銀行	454	2.68
岐阜信用金庫	437	2.58
MSIP CLIENT SECURITIES	360	2.13
富士変速機従持会	280	1.65
三井住友信託銀行株式会社	171	1.01
岐阜商工信用組合	141	0.83
第一生命保険株式会社	141	0.83

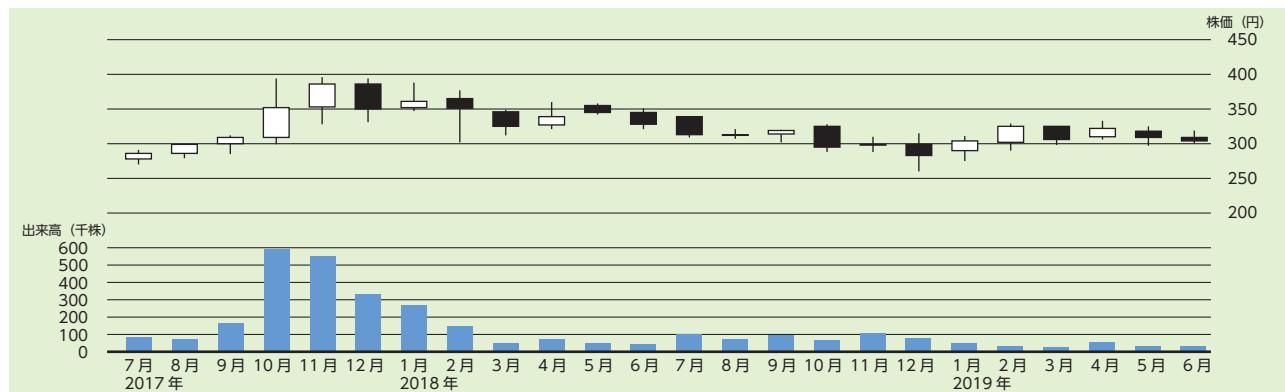
(注) 1. 当社は、自己株式1,039千株を保有しておりますが、当該株式に議決権がないため、上記大株主から除いております。  
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
2. 千株未満は切り捨てて表示しております。

## 株式の所有者別分布状況



外国人	証券会社
3名	14名
361,400株	10,581株
2.01%	0.06%
金融機関	個人・その他
14名	1,509名
2,401,900株	4,308,358株
13.38%	24.00%
その他国内法人	自己名義株式
52名	1名
9,833,067株	1,039,694株
54.76%	5.79%

## 株価および出来高の推移



# 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年12月31日 中間配当：毎年6月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 <a href="http://www.fujihensokuki.co.jp/kessan/">http://www.fujihensokuki.co.jp/kessan/</a>
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

## ●住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ●「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことが出来ます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は、大切に保管してください。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収額の計算は証券会社等で行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。